

【取材案内】

ILC100人委員会 発起人代表 増田 寛也

「ILC（国際リニアコライダー）100人委員会」発足

科学の未来をつくる ILC 実現を 128 人が応援！

人口減少という事態に直面し国力の低下が懸念される我が国にとって、国力の再生と成長の源となる未来への投資、その中でも科学技術の果たす役割は、益々大きくなっており、こうした中、日本がアジア・世界の科学技術の盟主となり得る大きなチャンスが訪れています。それが、アジア初の国際研究機構の創設「国際リニアコライダー：ILC 計画」です。

この ILC 計画の意義を広く発信し、日本における建設実現を応援することを目的に、財界人や文化人他 128 名の有志による「ILC100 人委員会」が発足いたしました。このたび、その発足記念式典を開催いたします。

ILC が日本に建設されれば、日本が素粒子物理学をリードする存在となることは間違いありません。その効果は素粒子物理学にとどまらず、科学の進歩に貢献する国家として、日本の世界におけるプレゼンスを高め、優位性の維持・確立に大いに資するとともに、日本の科学技術全体の発展の土台となる施設になることでしょう。

つきましては、ご多用の中とは存じますが、ご取材検討くださいますようお願い申し上げます。お手数ですが、御社名・御媒体名・ご出席者名(人数)を明記の上、Eメール《info@ilc100.org》にてお申込みくださいますようお願い申し上げます。

開催概要：

日 時：2018 年 6 月 29 日(金) 13：00 - 14：20

場 所：国際文化会館 榊山・松本ホール（東京都港区六本木 5 - 11 - 16）

プログラム：

13：00 開会挨拶・趣旨説明 発起人代表 増田 寛也

13：10 御来賓挨拶

13：25 講演「ILC 計画の概要と現状」 岩手県立大学 学長 鈴木 厚人

13：40 100 人委員会委員ご挨拶

13：50 式典終了（終了後、14：20 まで、質疑応答）

国際リニアコライダーとは

ILCは全長20キロメートルに及ぶ大型の素粒子物理学の実験装置（粒子加速器）です。その規模から、世界の研究者が参加する唯一の国際研究機構として実現すべく、2004年より世界の二千人を超える科学者、エンジニアが活動しており、世界の研究者の総意として、ILCの最有力建設候補地は日本の北上山地(岩手県～宮城県)となっております。その決定を受け、2013年より文部科学省が設置した有識者会議で誘致の是非が検討されています。

現在、世界最大の粒子加速器はジュネーブ郊外にある欧州合同原子核研究機関(CERN)の大型ハドロン衝突型加速器(周長27kmの円形)です。2012年にはヒッグス粒子という特別な「素粒子」が発見され、その成果から、翌年ピーター・ヒッグス、フランソワ・アンゲレール両博士にノーベル物理学が授与されました。ILCはこれを性能的に大きく凌駕する次世代・最新鋭の直線加速器です。ILCが建設されれば、ILCを中心とする一大研究拠点が新たに日本に誕生することになります。

ILCは新たな地域と人を育て、人類の次世代の「知と技術のフロンティア」拠点となります。現在、既に大型の科学技術計画をホストしている欧米諸国は、次はアジア、特に日本にこのILC計画でのリーダーとしての役割を期待し、日本政府が踏み出すのを世界が待ち望む状況が生まれています。数十年に一度の機会です。「世界と繋がる地方創生」を生み出し、オリンピック以降の日本の成長の新しいモデルとなることが期待されます。

100人委員会 委員について

委員一覧は式典当日に配布予定です。事前の配布をご希望の場合はお問い合わせください。なお、6月29日(金)13:00解禁とさせていただくことをご了承くださいませ。

発足式典には全会員のうち10~15名が参加する予定です(調整中)。

お問い合わせ

ILC100人委員会組織事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館8階

TEL 03-3287-9771

E-mail info@ilc100.org

(一社)先端加速器科学技術推進協議会・事務局長 松岡雅則

TEL 090-5585-4643

以上